

受水槽等清掃業務

1 2月頃に実施

1 対象設備

対象建築物		設備名		容 積	備 考
小児医療 センター	本館	受水槽	1 基	140t	2 槽式
		雑用水槽	1 基	230t	6 分割

2 業務の内容

上記対象設備の清掃を行い、業務終了後、報告書を提出すること。

貯水槽の掃除を行うに当たっては、以下の事項に留意すること。

- (1) 作業者は常に健康状態に留意するとともに、おおむね3箇月ごとに健康診断を受けるようにし、健康状態の不良の者は作業に従事しないこと。
- (2) 作業衣及び使用器具は、貯水槽の掃除専用のものであること。また、作業に当たっては、作業衣及び使用器具の消毒を行い、作業が衛生的に行われるようにすること。
- (3) 作業は以下の事項に留意して行うこと。

ア 貯水槽内の照明、換気等に注意して事故防止を図ること。

イ 貯水槽内の沈積物質、浮遊物質、壁面等の付着物質等の除去、貯水槽周辺の清掃、貯水槽への異物侵入防止措置の点検等を行うこと。

ウ 受水槽の清掃を行った後、圧力水槽・高置水槽の掃除を行うこと。

エ 洗浄汚水の排水は完全に行うこと。

オ 貯水槽の掃除の終了後、塩素剤を用いて貯水槽内の消毒を行うこと。

消毒は2回以上繰り返すとともに、消毒排水の排除は完全に行うこと。また、消毒終了後は槽内に立ち入らないこと。

カ 貯水槽内の水張り終了後、給水栓末端及び貯水槽内の水質検査及び残留塩素の測定を行うこと。なお、残留塩素の含有率は、遊離残留塩素で 0.2ppm（結合残留塩素の場合は 1.5ppm）以上であることを確認すること。水質検査については水道法第4条の規定による水質基準の項目について行うこと。

試験項目

検査を省略できない項目

一般細菌、大腸菌、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、pH 値、味、臭気、色度、濁度

計 11 項目

※検査の適合基準は、平成15年5月30日付厚生労働省令第101号（最終改正：平成二七年三月二日厚生労働省令第二九号）の水質基準に関する省令によることとする。

3 その他

- (1) 業務日程については、発注者の指示に従い当センター業務に支障がないよう調整を行うこと。
- (2) 受注者は、受水槽清掃に従事させる者については、健康診断の成績書を事前に発注者に提出し、発注者の承認を受けなければならない。
- (3) 受注者は、清掃時に水槽本体にサビ・腐食等の発生する恐れのあるキズをつけた場合は、これを補修しなければならない。